



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 寺崎電気産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 6637 URL <http://www.terasaki.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 寺崎 泰造

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室室長 (氏名) 高木 大吾

TEL 06-6791-2701

四半期報告書提出予定日 2020年11月12日

配当支払開始予定日

2020年12月9日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	16,154	4.4	645	4.2	964	20.0	674	22.4
2020年3月期第2四半期	16,902	2.3	619	425.7	804	54.3	550	26.8

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 745百万円 (%) 2020年3月期第2四半期 458百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	51.75	
2020年3月期第2四半期	42.29	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	45,998	31,974	69.4	2,451.68
2020年3月期	46,767	31,439	67.1	2,410.35

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 31,942百万円 2020年3月期 31,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		0.00		16.00	16.00
2021年3月期		8.00			
2021年3月期(予想)				8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,220	6.8	1,700	29.5	2,100	25.9	1,400	31.2	107.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	13,030,000 株	2020年3月期	13,030,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,021 株	2020年3月期	1,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	13,028,979 株	2020年3月期2Q	13,028,979 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述等は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料は、決算発表終了後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。
なお、決算に関するお問い合わせは、個別に電話会議等にてご対応させていただきます。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症拡大（以下、感染症といたします。）の影響により、依然として厳しい状況にありましたが、経済活動の再開が段階的に進められることで回復基調となりました。感染症拡大が続いた米国、欧州及び英国においても、移動制限や店舗等の休業措置が解除されることにより、景気の持ち直しの動きがみられました。各国に先駆けて経済活動を再開した中国では、政府による投資促進策や消費刺激策の実施に加え、海外の経済活動再開等に伴い輸出が増加したため、景気の回復が持続しました。その他の新興国については、景気は下げ止まりつつありました。わが国においても、緊急事態宣言の解除による経済活動の段階的な再開に伴い、景気の持ち直しの動きがみられました。

当社グループを取り巻く経済環境は、国内において、感染症の影響による企業収益の減少や、先行き不透明感の影響もあり、設備投資は弱い動きとなりました。海外における設備投資は、総じて下げ止まりの兆しがみられました。当社の主要顧客である造船業界においては、依然として船腹需給のバランスは回復せず、船価及び受注量の低迷が続いています。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は、船舶用システム製品（船舶用配電制御システム等）の高付加価値船及び海洋環境規制関連工事が堅調に推移したものの、機器製品（低圧遮断器等）が減少したことにより、16,154百万円と前年同期比4.4%の減少となりました。営業利益は645百万円と前年同期比4.2%の増益、経常利益は964百万円と前年同期比20.0%の増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は674百万円と前年同期比22.4%の増益となりました。

製品別の売上高は、システム製品（配電制御システム等）が9,285百万円と前年同期比2.6%の増加、機器製品が6,868百万円と前年同期比12.5%の減少となりました。

システム製品の受注高は、アジアでの船舶用システム製品、及びメディカルデバイスの臨床検査機器が増加し、前年同期を13.1%上回る10,392百万円となり、受注残高は前連結会計年度末より1,106百万円増加し、17,354百万円となりました。

なお、機器製品は、計画生産を行っているため、上記受注高、受注残高には含めておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別の経営成績は以下のとおりです。

「日本」

船舶用システム製品は、LNG船及び陸電供給システム等が増加したことにより、売上は前年同期と比べ増加しました。

産業用システム製品は、海外プラント向けが減少したものの、国内プラント向け及びコージェネレーションシステム等の分散型エネルギー関連が増加したことにより、売上は前年同期と比べ増加しました。

メディカルデバイスは、新型コロナウイルス検査関連機器が増加したものの、感染症の拡大により医療機器やその他の臨床検査機器の新規設備投資が減少し、売上は前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、産業向けエンジニアリング案件が減少しましたが、海洋環境規制関連工事及びレトロフィットビジネスが堅調に推移し、また国内鉄道関連施設のエンジニアリング案件もあり、売上は前年同期と比べ増加しました。

その結果、システム製品全体の売上は前年同期と比べ増加しました。

機器製品は、国内向けの売上は船舶市場向けが堅調に推移したものの、設備投資が低調に推移したことにより減少し、海外向けの売上は感染症による経済活動制限が緩和されつつあるものの、依然影響が持続したことにより減少し、機器製品全体の売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は10,337百万円と前年同期比0.8%の増加、セグメント利益は591百万円と前年同期比16.1%の増益となりました。

「アジア」

船舶用システム製品は、感染症による経済活動制限の影響により、売上は前年同期と比べ減少しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、中国において海洋環境規制関連工事が堅調に推移したものの、シンガポールにおいては感染症による海外渡航制限の影響があり、売上は前年同期と比べ減少しました。

機器製品は、マレーシアにおいて感染症による約1ヶ月間の操業停止を命じられたこと、及び東南アジアにおける経済活動制限の影響により、売上は前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は3,753百万円と前年同期比19.8%の減少、セグメント利益は315百万円と前年同期比33.5%の減益となりました。

「ヨーロッパ」

機器製品は、英国内向けはほぼ横ばいとなり、中近東向けが低調に推移するものの、欧州向けが堅調に推移し、売上は前年同期と比べ増加しました。

エンジニアリング及びライフサイクルサービスは、感染症による経済活動制限の影響により低調に推移し、前年同期と比べ減少しました。

その結果、当セグメントの売上高は2,063百万円と前年同期比4.9%の増加、セグメント利益は80百万円と前年同期比24.1%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における財政状態は、現金及び預金が前期末比1,447百万円並びにたな卸資産が前期末比142百万円それぞれ増加した一方、受取手形及び売掛金が前期末比2,113百万円減少したこと等により、流動資産は前期末比712百万円減の32,629百万円となりました。固定資産では、繰延税金資産が前期末比32百万円増加した一方、退職給付に係る資産が前期末比81百万円減少したこと等により、前期末比56百万円減の13,368百万円となりました。

その結果、当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前期末比769百万円減の45,998百万円となりました。

負債の部では、未払費用が前期末比408百万円増加した一方、支払手形及び買掛金が前期末比592百万円並びに電子記録債務が前期末比555百万円それぞれ減少したこと等により、流動負債は前期末比874百万円減の10,889百万円となりました。固定負債では、長期借入金が前期末比313百万円及び繰延税金負債が前期末比84百万円それぞれ減少したこと等により、前期末比430百万円減の3,134百万円となりました。

その結果、負債合計は前期末比1,304百万円減の14,024百万円となりました。

純資産の部では、退職給付に係る調整累計額が前期末比126百万円減少した一方、為替換算調整勘定が前期末比184百万円増加、加えて、親会社株主に帰属する四半期純利益674百万円の計上により利益剰余金が前期末比465百万円増加したこと等により、純資産合計は前期末比535百万円増の31,974百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1,447百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末には12,619百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は2,428百万円（前年同期は1,187百万円の収入）となりました。これは、主に売上債権の減少による収入2,184百万円及び税金等調整前四半期純利益966百万円、仕入債務の減少による支出1,023百万円及び法人税等の支払による支出386百万円、加えて、雇用調整助成金の受取による収入188百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は420百万円（前年同期は160百万円の支出）となりました。これは、主に有形固定資産の取得による支出413百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は646百万円（前年同期は555百万円の支出）となりました。これは、主に長期借入金の返済による支出383百万円及び配当金の支払いによる支出208百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年8月12日開示の「2021年3月期連結業績予想及び配当予想に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想及び配当予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,172,228	12,619,710
受取手形及び売掛金	12,381,770	10,267,836
商品及び製品	3,604,142	3,865,381
仕掛品	3,435,462	3,415,431
原材料及び貯蔵品	2,176,926	2,078,629
その他	881,018	673,164
貸倒引当金	△308,909	△290,288
流動資産合計	33,342,639	32,629,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,453,072	8,498,955
減価償却累計額	△4,043,604	△4,186,734
建物及び構築物(純額)	4,409,467	4,312,221
機械装置及び運搬具	6,364,927	6,522,130
減価償却累計額	△5,340,667	△5,479,657
機械装置及び運搬具(純額)	1,024,260	1,042,472
工具、器具及び備品	7,539,208	7,673,248
減価償却累計額	△7,187,765	△7,297,225
工具、器具及び備品(純額)	351,443	376,022
土地	2,698,196	2,698,334
リース資産	791,116	799,800
減価償却累計額	△178,806	△234,165
リース資産(純額)	612,310	565,635
建設仮勘定	293,398	401,079
有形固定資産合計	9,389,077	9,395,766
無形固定資産		
その他	129,162	103,469
無形固定資産合計	129,162	103,469
投資その他の資産		
投資有価証券	223,678	231,899
退職給付に係る資産	3,091,408	3,009,512
繰延税金資産	384,483	417,111
その他	1,264,755	1,268,665
貸倒引当金	△1,057,288	△1,057,458
投資その他の資産合計	3,907,037	3,869,730
固定資産合計	13,425,276	13,368,965
資産合計	46,767,916	45,998,832

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,636,196	3,043,971
電子記録債務	3,229,758	2,674,426
短期借入金	480,000	480,000
1年内返済予定の長期借入金	767,380	697,170
未払法人税等	402,135	389,496
未払費用	1,653,567	2,062,057
製品保証引当金	127,553	124,728
その他	1,466,895	1,417,451
流動負債合計	11,763,487	10,889,301
固定負債		
長期借入金	1,539,980	1,226,500
繰延税金負債	761,018	676,593
退職給付に係る負債	548,318	541,611
その他	715,802	690,182
固定負債合計	3,565,118	3,134,887
負債合計	15,328,606	14,024,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,236,640	1,236,640
資本剰余金	2,244,650	2,244,650
利益剰余金	27,799,920	28,265,723
自己株式	△1,433	△1,433
株主資本合計	31,279,777	31,745,580
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,220	32,103
繰延ヘッジ損益	△6,083	2,152
為替換算調整勘定	△1,295,888	△1,111,326
退職給付に係る調整累計額	1,401,310	1,274,399
その他の包括利益累計額合計	124,558	197,329
非支配株主持分	34,974	31,733
純資産合計	31,439,309	31,974,643
負債純資産合計	46,767,916	45,998,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	16,902,315	16,154,737
売上原価	12,432,230	11,747,195
売上総利益	4,470,085	4,407,541
販売費及び一般管理費	3,850,894	3,762,214
営業利益	619,191	645,327
営業外収益		
受取利息	68,423	35,433
受取配当金	8,010	4,587
為替差益	171,367	-
デリバティブ評価益	-	163,545
雇用調整助成金	-	188,126
その他	43,704	50,207
営業外収益合計	291,505	441,901
営業外費用		
支払利息	18,083	17,520
為替差損	-	104,260
デリバティブ評価損	87,486	-
その他	824	451
営業外費用合計	106,394	122,232
経常利益	804,302	964,996
特別利益		
固定資産売却益	222	1,808
投資有価証券売却益	80,239	-
特別利益合計	80,461	1,808
特別損失		
固定資産除却損	5,723	465
減損損失	27,594	-
特別損失合計	33,318	465
税金等調整前四半期純利益	851,445	966,339
法人税、住民税及び事業税	339,139	355,767
法人税等調整額	△38,567	△61,954
法人税等合計	300,572	293,813
四半期純利益	550,873	672,525
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△76	△1,741
親会社株主に帰属する四半期純利益	550,950	674,266

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	550,873	672,525
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△72,129	6,883
繰延ヘッジ損益	△3,087	8,236
為替換算調整勘定	△836,530	184,562
退職給付に係る調整額	△97,633	△126,910
その他の包括利益合計	△1,009,381	72,771
四半期包括利益	△458,507	745,297
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△458,430	747,038
非支配株主に係る四半期包括利益	△76	△1,741

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	851,445	966,339
減価償却費	485,309	478,685
減損損失	27,594	-
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△34,742	△1,963
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△24,101	△105,315
引当金の増減額 (△は減少)	△6,003	△22,700
受取利息及び受取配当金	△76,434	△40,021
支払利息	18,083	17,520
デリバティブ評価損益 (△は益)	87,486	△163,545
為替差損益 (△は益)	△85,611	19,700
投資有価証券売却損益 (△は益)	△80,239	-
有形固定資産売却損益 (△は益)	△222	△1,808
売上債権の増減額 (△は増加)	1,117,488	2,184,369
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,013,312	△106,373
仕入債務の増減額 (△は減少)	527,616	△1,023,545
雇用調整助成金	-	△188,126
その他	△229,324	590,565
小計	1,565,034	2,603,780
利息及び配当金の受取額	71,545	40,021
利息の支払額	△18,330	△17,420
雇用調整助成金の受取額	-	188,126
法人税等の支払額	△431,108	△386,291
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,187,140	2,428,216
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△1,482	△1,255
投資有価証券の売却による収入	103,832	-
有形固定資産の取得による支出	△249,443	△413,381
有形固定資産の売却による収入	450	1,645
その他	△13,934	△7,861
投資活動によるキャッシュ・フロー	△160,577	△420,852
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,010,000	910,000
短期借入金の返済による支出	△1,010,000	△910,000
長期借入金の返済による支出	△329,690	△383,690
配当金の支払額	△182,405	△208,463
その他	△43,209	△54,340
財務活動によるキャッシュ・フロー	△555,305	△646,493
現金及び現金同等物に係る換算差額	△401,353	86,611
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	69,904	1,447,481
現金及び現金同等物の期首残高	11,368,165	11,172,228
現金及び現金同等物の四半期末残高	11,438,069	12,619,710

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて

新型コロナウイルス感染症拡大は、経済や企業活動に広範な影響を与える事象ではありますが、感染拡大の規模や収束時期の見通しについては依然不透明な状況であり、今後の当社グループへの影響を見通すことは極めて困難であります。そのため、当社グループとしては、入手可能な情報等を踏まえ、当連結会計年度の一定期間にわたり当該感染症の影響が続くものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性、貸倒引当金の計上、固定資産の減損等の会計上の見積りを実施しており、前連結会計年度末時点において予測した状況から重要な変更は見込んでおりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,253,828	4,681,779	1,966,708	16,902,315
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,369,842	1,840,676	6,999	4,217,518
計	12,623,670	6,522,456	1,973,707	21,119,834
セグメント利益	509,606	474,399	64,557	1,048,563

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,048,563
セグメント間取引消去	37,304
全社費用(注)	△466,676
四半期連結損益計算書の営業利益	619,191

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	アジア	ヨーロッパ	合計
売上高				
外部顧客への売上高	10,337,347	3,753,602	2,063,787	16,154,737
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,899,789	1,586,482	9,219	3,495,491
計	12,237,137	5,340,084	2,073,006	19,650,228
セグメント利益	591,534	315,323	80,127	986,985

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	986,985
セグメント間取引消去	107,229
全社費用(注)	△448,887
四半期連結損益計算書の営業利益	645,327

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。